

平成 26 年度 知事賞争奪 愛知県フィギュアスケート選手権大会
 平成 26 年度 教育委員会賞争奪 愛知県フィギュアスケートジュニア競技会
 兼 第 25 回全国有望新人発掘合宿(2015 年)選考会
実 施 要 項

- 1 主催・主管 愛知県スケート連盟
- 2 後 援 愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、(公財)愛知県体育協会
(公財)名古屋市教育スポーツ協会、中日新聞社、メ〜テレ
- 3 期 間 平成 27 年 3 月 11 日 (木) ~15 日 (日)
- 4 会 場 日本ガイシアリーナ アイスリンク (屋内人工氷 60m×30m)
〒457-0833 名古屋市南区東又兵衛町 5-1-5 052-614-6211
- 5 日 程

平成 27 年 3 月 11 日 (水)	17:00-19:00	開会式・抽選・公式練習
平成 27 年 3 月 12 日 (木)	10:15-21:00	公式練習・5 級 SP・3 級女子 FS
平成 27 年 3 月 13 日 (金)	7:20-22:00	公式練習・1 級女子 FS・2 級女子 FS・3 級女子 FS・ NvB 男子 FS・4 級女子 FS・NvA 男子 FS・5 級女子 FS Jr 選手権男子 SP・選手権男子 SP
平成 27 年 3 月 14 日 (土)	7:00-22:00	Jr 選手権女子 SP・選手権女子 SP・ペア SP 初級女子 FS・NvB 女子 FS
平成 27 年 3 月 15 日 (日)	7:00-20:00	NvA 女子 FS・Jr 選手権女子 FS・Jr 選手権男子 FS 選手権男子 FS・選手権女子 FS・表彰・閉会式 引退セレモニー
- 6 競技種目 別記のとおり。
- 7 競技課題 別記のとおり。
- 8 競技規程 国際スケート連盟規程による。
- 9 参加資格
 - ①平成 27 年 2 月 16 日現在、財団法人日本スケート連盟登録競技者である者、および 2 月 16 日までに追加登録が認められた者。
 - ②申込み締切日において、所定クラスのバッジテスト級を有する者。
但し、ノービスクラスのみ見込級の参加も可能。
 - ③競技会当日において、スケート競技を対象に含む傷害保険と賠償責任保険に加入している者。
 - ④その他、特別に出場が認められた者。
- 10 表 彰

各クラス 1 位～3 位の入賞者に賞状とメダルを授与。
 ただし上記のほか、10～15 名の参加の場合は 4 位～6 位に賞状を授与。
 16 名以上の参加の場合は 4 位～8 位に賞状を授与。
 選手権クラス優勝者に知事賞、ジュニア A クラス 1 位の選手に教育委員会賞を授与する。
 (但し、知事賞、教育委員会賞の対象者は愛知県内に在住している者、または愛知県内に通学・通勤している者に限る)
 選手権・ジュニア選手権・2 級クラスの優勝者にトロフィーを授与。
- 11 申込み方法 日本スケート連盟のホームページ <https://www.skatingjapan.jp/myac/> より、
オンラインで申し込みください。(2015 年 2 月 2 日～2 月 16 日)
各クラブ単位で別紙申込み用紙を作成し参加料をクラブ名で振り込んでください。
なお、参加選手の写真、保険加入の確認ができる書類の写しが未提出の場合は申込みと
同時に提出してください。
- 12 参加料 1 名 12,000 円 ペア 1 名 12,000 円
参加料の振込み先：中京銀行 大江支店 普通預金 1116863 「愛知県スケート連盟フィギュア競技部」
- 13 申込締切日 平成 27 年 2 月 16 日 (月)
- 14 音 楽 MD・CD に限る。
- 15 そ の 他
 - 1) 競技中の事故等は応急処置はいたしますが、その責任は負いません。
 - 2) 入場は無料 (1 階エリアへの入場は ID カードが必要です)
 - 3) **観客席・リンクサイドでの写真撮影および VTR 撮影は禁止いたします。** ※大会実行委員会が許可した者を除く。
 - 4) 問い合わせ先 フィギュア委員長 久野千嘉子 (asufsp@yahoo.co.jp)

**第25回全国有望新人発掘合宿(2015年)選考会
実施要項**

- 1 主催 愛知・岐阜・静岡・三重・福井・石川・富山の各県スケート連盟フィギュア部
- 2 主管 愛知県スケート連盟
- 3 期間 平成27年3月14日(土)～15日(日)
- 4 会場 日本ガイシアリーナ アイスリンク(屋内人工氷 60m×30m)
〒457-0833 名古屋市中区東又兵衛町 052-614-6211
- 5 日程 平成27年3月14日(土) 9:00-21:30 競技・表彰・
平成27年3月15日(日) 7:45-20:10 競技・表彰・閉会式
※時間は予定であり、詳細は申込み締め切り後に連絡致します。
- 6 競技種目 ノービスA女子、ノービスB女子
- 7 競技課題 別記のとおり。
- 8 競技規程 日本スケート連盟規程による。
- 9 参加資格 1) 平成27年2月16日現在、愛知・岐阜・静岡・三重・福井・石川・富山の7県
スケート連盟より、日本スケート連盟に登録されている者
2) 申込み締切日において、所定クラスのバッジテスト級を有する者。但し、見込級の参加も可能。
※男子の選考会はありません。資格のある男子は合宿に全員参加ができます。
見込み級の参加はプログラムに対応するため。

[合宿参加資格]

- a1 2002年7月1日～2003年6月30日生まれ で、かつ 総合6級以上の者
- a2 2003年7月1日～2004年6月30日生まれ で、かつ 総合6級以上の者(女子)
2003年7月1日～2004年6月30日生まれ で、かつ 総合5級以上の者(男子)
- b1 2004年7月1日～2005年6月30日生まれ で、かつ 総合5級以上の者(女子)
2004年7月1日～2005年6月30日生まれ で、かつ 総合4級以上の者(男子)
- b2 2005年7月1日～2006年6月30日生まれ で、かつ 総合4級以上の者(女子)
2005年7月1日～2006年6月30日生まれ で、かつ 総合4級以上の者(男子)

- 10 選考方法 平成26年度 愛知県フィギュアスケート選手権大会の各ノービスクラスより、順位の上位選手より選考をする。

来年度有望新人発掘合宿枠(女子)

	NA1(12)	NA2(11)	NB1(10)	NB2(9)	合計
中部ブロック	5人	7人	5人	5人	22人

- 11 その他 見込み級で選考された者が、平成27年5月10日(日)までに、参加資格が得られなかった場合は次点者に合宿参加資格を移行をする。

平成26年度 愛知県フィギュアスケート選手権大会 【競技課題】

シングルスケーティング

性別	クラス	参加資格		時間	課題
男子	選手権	7級以上		2分50秒以内 4分30秒	ISU シニア課題 ショートプログラム フリースケーティング
	ジュニア選手権	5級以上		2分50秒以内 4分	ISU ジュニア課題 ショートプログラム フリースケーティング
	ノービス A	4級以上 (見込み級を含む)	2001年7月1日～2004年6月30日 の間に出生した者。(来シーズン年齢を含む)	3分30秒	(公財)日本スケート連盟 全日本ノービス A 課題
	ノービス B	3級以上 (見込み級を含む)	2003年7月1日～2006年6月30日 の間に出生した者。(来シーズン年齢を含む)	3分	(公財)日本スケート連盟 全日本ノービス B 課題
	4級	4級		3分30秒	(公財)日本スケート連盟 全日本ノービス A 課題
	3級	3級		3分	(公財)日本スケート連盟 全日本ノービス B 課題
	2級	2級		2分	別記1
	1級・初級	1級・初級		1分	別記2

女子	選手権	7級以上		2分50秒以内 4分	ISU シニア課題 ショートプログラム フリースケーティング
	ジュニア選手権	6級以上		2分50秒以内 3分30秒	ISU ジュニア課題 ショートプログラム フリースケーティング
	ノービス A	6級以上 (見込み級を含む)	2001年7月1日～2004年6月30日 の間に出生した者。(来シーズン年齢を含む)	3分	(公財)日本スケート連盟 全日本ノービス A 課題
	ノービス B	5級以上 (見込み級を含む)	2003年7月1日～2006年6月30日 の間に出生した者。(来シーズン年齢を含む)	2分30秒	(公財)日本スケート連盟 全日本ノービス B 課題
	5級	5級		2分50秒以内 3分30秒	ISU ジュニア課題 ショートプログラム (アクセルはシングル可) フリースケーティング
	4級	4級		3分	(公財)日本スケート連盟 全日本ノービス A 課題
	3級	3級		2分30秒	(公財)日本スケート連盟 全日本ノービス B 課題
	2級	2級		2分	別記3
	1級	1級		1分	別記4
	初級	初級		1分	別記5

ペア・スケATING

ジュニア選手権			2分50秒以内	ISU ジュニア課題
---------	--	--	---------	------------

留意事項

- 1 7級のジュニア年齢以下の選手は、選手権クラス・ジュニア選手権クラスのいずれかを選択して出場することができる。
- 2 ノービス年齢に該当する選手は、ノービスクラス・級別クラスのいずれかを選択して出場することができる。
- 3 ジュニア選手権女子のフリー・スケATINGは、ショート・プログラムの上位24名で行なう。

競技課題の内容(No.1)

ショートプログラム 必須要素
シニア・シングル 滑走時間 2分50秒以内

	男子	女子
a)アクセル系のジャンプ	ダブルまたはトリプル・アクセル	
b)単独ジャンプ	トリプルまたはクワド・ジャンプ	トリプル・ジャンプ
	コネクティング・ステップあるいはフリースケーティング動作より直ちに行う	
c)ジャンプ・コンビネーション	2+3、3+3、2+4、3+4	2+3、3+3
	ソロ・ジャンプと異なる種類	
d)フライング・スピン	あらゆるタイプのフライング・スピン	
	着氷後 最少8回転	
e)スピン	足換え1回のみ キャメルまたはシット	レイバックあるいは サイドウエイズ・リーニング
	フライング・スピンのランディング・ ポジションとは異なるもの 各足最少6回転(合計12回転)	最少8回転(規定の姿勢で)
f)スピン・コンビネーション	足換え1回のみ、少なくとも2種類の基本姿勢	
	各足最少6回転(合計12回転)	
g)ステップ	氷面を十分に使用したステップ・シーケンス	

※ ポジションと認められるためには2回転が必要。

ジュニア選手権 (2014-2015)
滑走時間 2分50秒以内

	男子	女子
a)アクセル系のジャンプ	ダブルまたはトリプル・アクセル	ダブル・アクセル ※※
b)単独ジャンプ	ダブルまたはトリプル・ルッツ	
	コネクティング・ステップあるいはフリー・スケーティング動作より直ちに行う	
c)ジャンプ・コンビネーション	2+3、3+3	2+2、2+3、3+3
	ソロジャンプと異なる種類	
d)フライング・スピン	フライング・キャメル・スピン	
	空中姿勢と同じ姿勢	
	着氷後最少8回転	
e)スピン	足換え1回のみ シット・スピン	レイバックあるいは サイドウエイズ・リーニング
	各足最少6回転(合計12回転)	最少8回転(規定の姿勢で)
f)スピン・コンビネーション	足換え1回のみ、2種類の基本姿勢	
	各足最少6回転(合計12回転)	
g)ステップ	氷面を十分に使用したステップ・シーケンス	

※ ポジションと認められるためには2回転が必要。

競技課題の内容(No.2)

ノービス A フリー・スケートイング

演技時間 男子 3分 30秒 女子 3分 (±10 秒間)

	男子	女子
ジャンプ	最大7	最大6
	第一ジャンプとして、アクセル系ジャンプ、ルッツ・ジャンプ、フリップ・ジャンプの3種類を含む	
	アクセルを含む、いかなるダブルジャンプは(単独でも、コンボ/シークエンスの一部としても)2回まで	
	ダブル・アクセル、トリプル、クワドの2種類のみ、コンボ/シークエンス中で繰り返し可能	
	単独として繰り返された場合には+REP が付く	
	ジャンプ・コンボ、ジャンプ・シークエンスは3つまで可能	
スピン ※	異なった種類 3	
	フライング・スピン	
	足換え無し、姿勢変更無し、最小6回転	
	キャメルまたはシット・スピン フライング・スピンのランディング・ ポジションとは異なるもの。 足換えの回数は任意	レイバック・スピン (足換え無し)
	フライングからの入りは不可、最少6回転	
ステップ	スピン・コンビネーション (足換えは任意 最小 10 回転)	
	氷面を十分に使用したステップ・シークエンス	

※ ポジションと認めもらうには 2 回転以上必要

ノービス B フリー・スケートイング

演技時間 男子 3分 女子 2分30秒 (±10 秒間)

	男子	女子
ジャンプ	最大6	最大5
	第一ジャンプとして、アクセル系ジャンプ、ルッツ・ジャンプ、フリップ・ジャンプの3種類を含む	
	アクセルを含む、いかなるダブルジャンプは(単独でも、コンボ/シークエンスの一部としても)2回まで	
	ダブルアクセル、トリプルの2種類のみ、コンボ/シークエンス中で繰り返し可能	
	単独として繰り返された場合には+REP が付く	
	ジャンプ・コンボ、ジャンプ・シークエンスは2つまで可能	
スピン ※	異なった種類 3	
	フライング・スピン	
	足換え無し、姿勢変更無し、最小6回転	
	キャメルまたはシット・スピン フライング・スピンのランディング・ ポジションとは異なるもの。 足換えの回数は任意	レイバック (足換え無し)
	フライングからの入りは不可、最少6回転	
ステップ	スピン・コンビネーション 足換えは任意、最小10回転	
	コレオグラフィック・シークエンス	
ステップ	形状には制約がないが、明らかにそれと分かるもの レベルはフィックス、GOEのみで評価される	
	-	少なくとも1つ支持なしのスパイラル 3秒以上の長さが必要

※ 1ポジションと認めもらうには 2 回転以上必要

※※ただし、コレオグラフィック・シークエンスの認定はISUシニア女子と同じとする。

競技課題の内容(No.3)

【別記1】 2級クラス 男子 PCS(SS, PE, IN) ファクター:1.8(全 PC 共通)

転倒: -0.2 (演技時間 2 分±10 秒)

バランスの良いフリー・プログラムに含まれる要素

a) ジャンプ要素 最大4個

ジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シークエンスを 2 回含むことが出来る。第一ジャンプは異なった 4 種類を含むこと。(回転数が異なっても同じ種類とする)内 1 つはアクセル型ジャンプでなければならない。但し、同じ種類のジャンプは2個まで(回転数が異なっても同じ種類とする)

b) スピン要素 異なった2種類を2個 (レベルは認定)

1つは1ポジションのスピンの基本姿勢で5回転以上)

1つはスピン・コンビネーションのスピンの足換えが無い場合は5回転以上、足換えがある場合は、合計10回転以上)

c) ステップ要素 ステップ・シークエンス 最大レベル1で評価をする。

氷面を十分に使用したステップ・シークエンス

【別記2】 1級・初級以下男子 PCS(SS, PE, IN) ファクター:1.5(全 PC 共通)

転倒: -0.2 (演技時間 1 分±10 秒)

バランスの良いフリー・プログラムに含まれる要素

a) ジャンプ要素 最大4

ジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シークエンスを 1 回含むことが出来る。第一ジャンプは異なった 4 種類(回転数が異なっても同じ種類とする)

ワルツ・ジャンプ可

b) スピン要素 最大 1 個

1ポジションのスピンの基本姿勢で5回転以上)レベルBで評価する。

c) ステップ要素 ステップ・シークエンス 最大レベル Bで評価をする。

シークエンスの長さは 1/2 以上で認定する。

競技課題の内容(No.3)

【別記3】 2級女子 PCS(SS, PE, IN) ファクター:1.8(全 PC 共通)転倒: -0.2
(演技時間 2分±10秒)

バランスの良いフリー・プログラムに含まれる要素

- a) ジャンプ要素 最大4個
ジャン2個で構成されるジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シーケンスを 2 回含むことが出来る。第一ジャンプは異なった 4 種類を含むこと。(回転数が異なっても同じ種類とする)
内 1つはアクセル型ジャンプでなければならない。但し、同じ種類のジャンプは2個まで(回転数が異なっても同じ種類とする)
- b) スピン要素 異なった 2 種類を 2 個 (レベルは認定)
1つは1ポジションのスピンの(基本姿勢で5回転以上)
1つはスピン・コンビネーションのスピンの(足換えが無い場合は5回転以上、足換えがある場合は、合計 10 回転以上)
- c) ステップ要素 ステップ・シーケンス 最大レベル 1 で評価をする。
氷面を十分に使用したステップ・シーケンス

【別記4】 1級女子 PCS(SS, PE, IN) ファクター:1.5(全 PC 共通)転倒: -0.2
(演技時間 1分±10秒)

バランスの良いフリー・プログラムに含まれる要素

- a) ジャンプ要素 最大4
ジャン2個で構成されるジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シーケンスを 1 回含むことが出来る。第一ジャンプは異なった 4 種類(回転数が異なっても同じ種類とする)
ワルツ・ジャンプ不可
- b) スピン要素 最大 1 個
1ポジションのスピンの(基本姿勢で5回転以上)最大レベル 1 で評価する。
- c) ステップ要素 ステップ・シーケンス 最大レベル B で評価をする。
シーケンスの長さは 1/2 以上で認定をする。

【別記5】 初級女子 PCS(SS, PE, IN) ファクター:1.5(全 PC 共通)転倒: -0.2
(演技時間 1分±10秒)

バランスの良いフリー・プログラムに含まれる要素

- a) ジャンプ要素 最大4
ジャン2個で構成されるジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シーケンスを 1 回含むことが出来る。第一ジャンプは異なった 4 種類(回転数が異なっても同じ種類とする)
ワルツ・ジャンプ可
- b) スピン要素 最大 1 個
1ポジションのスピンの(基本姿勢で5回転以上)レベルBで評価する。

ペア・スケーティング

【別記6】 ISU ジュニア課題 ショート・プログラム 2014~2015 年

- a) トウ・ループ・ヒップ・リフト踏み切り(グループ 3)
- b) ツイスト・リフト(ダブルあるいはトリプル)
- c) ダブルあるいはトリプルのループ・スロウ・ジャンプ
- d) ダブル・ルッツ・ソロ・ジャンプ
- e) 足換えを一回のみ行う・ソロ・スピン・コンビネーション
- f) デス・スパイラル・フォワード・インサイド
- g) 氷面を十分に活用したステップ・シーケンス

競技課題の内容(No.4)

シングル・スケートティング

【フリー・スケートティングの減点について】

- ①転倒は1回につき1.0減点される。但し、ノービス課題は0.5、2級以下のクラスの減点は0.2点とする。
- ②滑走時間の過不足は規定時間の過不足5秒ごとに1.0が減点される。

その他

- ※1 規定されている最大ジャンプ数のうち、第一ジャンプが重複したものは無価値となる。
(2級以下クラス)
- ※2 スピンと認められるには3回転以上が必要、3回転未満は無価値となる。
- ※3 ジャンプでは必要回転数に1/4回転よりは大きい、1/2回転未満の場合はUnder-rotated“<”、1/2回転以上の場合はDowngraded“<<”となる。
- ※4 シングル・アクセル・ジャンプのダウングレードは無価値となる。(ワルツジャンプとは異なる)
- ※5 プログラム・コンポーネントの係数(ノービスクラス)
男子は2.0、女子1.6
- ※6 初級・1級・2級クラスにおいては、後半に開始されるジャンプ要素の基礎値(GOEの値ではない)に対する1.1倍は考慮しない。
- ※7 シングル・スケートティングのショート・プログラムにおいて、後半に開始されるジャンプ要素の基礎値(GOEの値ではない)は特別に1.1倍される。

日本スケート連盟ノービス競技会における演技中断の減点

ISU コミュニケーション第1817号(演技の中断)の発表を受け、日本スケート連盟ノービス競技会における演技の中断による減点を以下のようにする。

プログラムの中断が起こった場合には、レフェリーは10秒毎に0.5を減点する。

例えば 11秒～20秒 0.5 21秒～30秒 1.0

競技者がレフェリーに中断を要求せず、事態を40秒以内に解消した場合

上記の中断を適用し、40秒を超えた場合は棄権となる。

レフェリーに40秒以内に最長3分間の中断を要求した場合は、レフェリーは中断全体に対し2.0を減点する。

2級以下ロークラスにおける演技中断の減点

プログラムの中断が起こった場合には、レフェリーは10秒毎に0.2を減点する。

レフェリーに40秒以内に最長3分間の中断を要求した場合は、レフェリーは中断全体に対し1.0を減点する。

採点システムにおいては転倒減点を使用して成績処理をします。